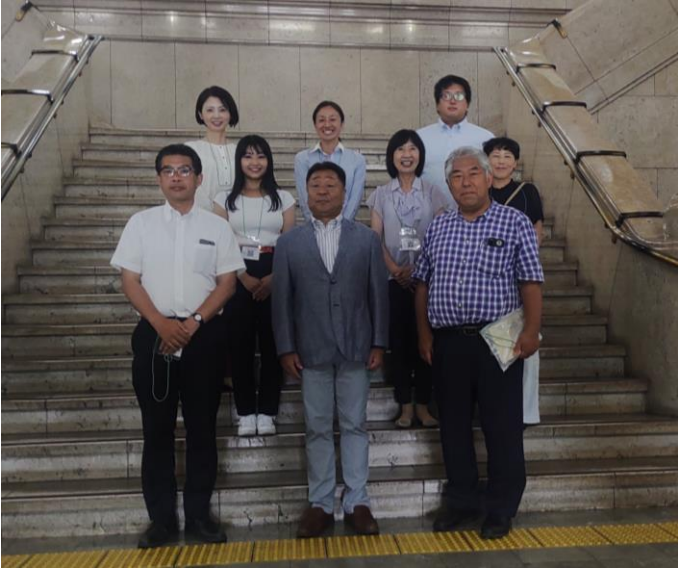


## 報 告 書

<p>調査・研究 テーマ</p>	<p>学び直しの教育支援</p>
<p>目 的</p>	<p>大阪府立高校に設置されているエンパワメントスクールの現状、課題、成果を調査し、さいたま市の高校生の学習支援や市立高等学校の在り方を議論するため</p>
<p>内 容</p>	<p>日 時：2023年7月13日（木） 10：30～11：30 場 所：大阪府庁 別館 大阪府中央区大手前3丁目2-12 説明者：教育振興室 高校再編整備課 新高校第二グループ 主任指導主事 祐實 秀信 氏 首席指導主事 松岡 豊明 氏 参加者：阪本 克己、高柳 俊哉、佐伯 加寿美、出雲 圭子、 松本 翔、佐々木 郷美、堤 日出喜、相川 綾香、 永井 里菜 報告書作成者：相川 綾香</p> 
<p>概 要</p>	<p>高校中退率が高い傾向にあった大阪府では、2013年に東京のエンカレッジスクールを参考に、「わかる授業」や「意見を出し合う授業」などを通して、生徒の持っている力を最大限に引き出し、社会で活躍するための力を育むエンパワメントスクールの検討・開校準備を始めた。 2015年には3校、2016年には新たに2校などと徐々に増やし、現在では計8校の府立高校で実施されている。</p>

概 要

高校中退率が高い傾向にあった大阪府では、2013年に東京のエンカレッジスクールを参考に、「わかる授業」や「意見を出し合う授業」などを通して、生徒の持っている力を最大限に引き出し、社会で活躍するための力を育むエンパワメントスクールの検討・開校準備を始めた。

2015年には3校、2016年には新たに2校などと徐々に増やし、現在では計8校の府立高校で実施されている。

【エンパワメントスクールの主な特徴】

- ① 1学年6学級35人
- ② 義務教育段階からの「学び直し」のカリキュラムを設定
- ③ 1年次の国数英は毎日各30分のモジュール授業
- ④ 「エンパワメントタイム」では、社会人基礎力を、身に付けるために、「正解が1つでない問題」について考える授業を実施
- ⑤ 入学者選抜では、募集定員の最大50%を面接や自己申告書などを資料として、生徒の意欲を積極的に評価

◆学習面を支援する取り組み

《成果》

- ・2018年度に生徒にアンケートを取った結果、モジュール授業やタブレット、電子黒板が分かりやすくて良かったという回答が多く、学習に対する苦手意識が改善している。

《課題》

- ・1年次の「学び直し」のための基礎科目と2年次生の必修科目の難易度に大きな開きを感じて、学習意欲が低下する生徒がいる。
- ・生徒の抱える問題は多様であり、1人ひとりにより丁寧な対応や指導をするためには、学習支援員等の地域人材を活用できるシステムの構築や、支援学校経験等がある支援教育の専門性の高い教員の配置が必要である。


◆生活面を支援する取り組み

《成果》

- ・2018年度の生徒のアンケート結果から、「他人の話をしっかりと聞けるようになってきた」「人と上手に付き合えるようなコミュニケーション力が身についた」と答える生徒がお送り、社会で必要な力が身についた。

《課題》

- ・2019年度の進路決定率が目標95%以上のところ、93.3%、欠席者数の減少率が目標60%以上のところ48.9%、遅刻者数の減少率も目標60%以上のところ51.0%のため、これから目標値に向けて更なる充実を目指していかなければならない。

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的障害や発達障害など、様々な配慮を要する生徒が増加しており、各校の事情に応じたよりよい支援方法を検討する必要がある。</li> </ul> 
<p>所見 成果</p>	<p>大阪府はエンパワメントスクールを開校したことで、中退率が減少し、目標を持っていきいきと学び、卒業後の進路に自信を持っている生徒が増加している。</p> <p>大阪府のエンパワメントスクールで実施されている学習や生活面での支援を、今後の埼玉県立高校の再編の中でさいたま市内で対象となる高校生にも同様に行えるよう注視し、県への働きかけも含めて、一般質問や議案外質問等で取り上げるなど市に係る提案を行っていききたい。</p>
<p>会派基本方針</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『誰ひとり取り残さない』視点での施策展開</li> <li>4. すべての子どもに学びと成長の機会充実</li> <li>5. 社会全体で子どもと若者を支えるまち</li> </ol>